

# 令和6年度 観光地域づくり・中核人材育成事業 『ぐんま観光リーダー塾』(第8期)

## 募集要項



募集期間：令和6(2024)年11月12日(火)～ 12月20日(金)必着

令和6年11月

公益財団法人群馬県観光物産国際協会

本事業は、令和6年度【県・市町村負担金】を財源とし、県域DMO(観光地域づくり法人)を推進する役割を果たすため、観光地域づくり・人材育成事業のひとつ「中核人材育成」として、公益財団法人群馬県観光物産国際協会が実施するものです。

## 1. はじめに

---

公益財団法人群馬県観光物産国際協会(以下、協会)では、観光地域づくり法人(観光庁、地域連携DMO)の役割として、観光客/来訪者だけでなく、住んでいる人が安心して暮らすことができ、地域に対して誇りや愛着が持てる地域をつくるため“観光を手段とした地域づくり”を目指す土台づくりを進めています。その一環として、地域の課題を解決するために地域のなかで能動的に動け、地域における観光地域づくりを広い視野でリードできる“中核人材”の発掘および育成を行う、塾形式の研修会『ぐんま観光リーダー塾』を平成29(2017)年度より継続して、毎年度開催してきました。平成29～令和4年度まで群馬県から事業を受託したのちに、令和5年度より協会の自主事業として独立し、開催しました。

地域をリードし、総合的にコーディネートできる人材を育成するため、「戦略策定」「マーケティング」「財源確保」「着地型商品開発」「プロモーション」「技術革新」の6分野を想定し、専門的な講義やワークショップ等を実施してきました。受講対象は観光担当者、県内のDMO担当者等を想定し、基本的に同一者が各回に参加するいわゆる「塾形式」にて、年に5回以上のカリキュラムで実施してきました。年度により、講義・座学中心の「レギュラーコース」に加えて、修了生を対象とした個別のメンタリングを主とした「アドバンスドコース」や、地域体験プログラム(着地型観光商品、ガイド付きツアー)のアイデアやプラン等を練っていく「地域コンテンツ・ガイドコース」を設定しました。昨年度時点で、のべ133人の修了生を輩出しています。

近年、サステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)という概念が大きな広がりを見せています。国連世界観光機関(UNWTO)によれば、サステナブル・ツーリズムとは「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」を意味しています。言い換えれば、旅行者、観光関係事業者、受け入れ地域にとって、「環境」「文化」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光を目指すということです。国内外から地域を訪問する旅行者が急増する中で、観光が地域社会・経済に与える効果とともに、過度に旅行者が集中する地域においては、自然環境やそこで暮らす人々の生活に与える問題などの負の影響も明らかになってきました。それらの課題に対し、各地域に暮らす生活者とその地を訪れる観光客の両方にとって、より良い“観光地域づくり”を目指す機運が日本国内で高まっています。また、旅を通じて地域社会の文化や経済、環境にポジティブな影響を与えたい、旅行先や宿泊先、移動手段について、よりサステナブルな選択をしたいと考える旅行者が増えていることが明らかになっています。

こうした背景のもと、今年度の本塾では、「地域の課題を解決するための“観光地域づくり”」に興味・関心があり、自ら取り組む意欲のある人を対象に、実際の地域をフィールドワークの舞台として人材育成・地域づくり支援を行い、地域における課題解決の糸口を見つける機会と事業として取り組み、ありがたい姿の実現を後押しするものを構想しています。

参加にあたっては、地域におけるコーディネーター的な役割が期待される自治体関係者や観光協会、観光地域づくり法人(DMO/DMC)等の方々をはじめ、観光施設の従事者、ツアーや体験アクティビティ等のガイドの方に、ご応募いただきたいと思います。地域固有の価値への理解、地域の様々な関係者が連携し協働体制を構築する意味や意義、来訪者体験の質・滞在時間及び消費支出の増大に向けた取組、各種取組について事業化/自走化を目指すために重要な視点などについて、参加者全員で考え、学んでいきます。また、参加者同士での相互の学びあい及びネットワーク形成ができることも本塾の特徴のひとつです。

本塾は、事前説明会(2025年1月8日、オンライン会議ツールを活用)、日帰り×2日間のフィールドワーク研修(2025年1月25・26日、安中市秋間梅林)がひとつのパッケージとなっています。参加費は5,000円(税込)となります。別途、フィールドワーク研修に参加するための交通費・旅費等の実費については各自でご負担いただきます。

本塾の趣旨をご理解いただき、多くの方からのご応募をお待ちしております。

## 2. 事業の目的および目標

本事業は、塾参加者が、①「地域の課題を解決するための“観光地域づくり”」の考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を得ること、②フィールドワーク先の地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取り組みをアクションプランに落とし込み目標を設定することを塾目標としています。

将来的には、地域の様々な関係者による連携・協働がアクションプランと共に進展し、それぞれの地域における環境・経済・社会の課題が同時に解決されていくような、地域社会の持続的発展を目指しています。

研修事業実施目標・成果		指標
長期的成果	地域社会が持続的に発展する。	—
中期的成果	塾を通じて作成したアクションプランが進展する。または、状況の変化に応じ改訂が行われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの一部または全部に進展がみられる。</li> <li>・必要な場合、アクションプランが見直される。</li> </ul>
塾目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題を解決するための“観光地域づくり”の考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を獲得</li> <li>・地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組をアクションプランに落とし込み目標を設定できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾地域の課題を解決するための“観光地域づくり”の考え方が理解される。</li> <li>・その実現に必要な「知識」「視点」が理解される。</li> <li>・塾参加者により地域・拠点での効果的な取組が行動計画に落とし込まれる。</li> </ul>

### 3. 受講対象者と事業全体の流れ

#### (1) 受講対象者について

地域の課題を解決するための“観光地域づくり”の実現に向けた人材となる以下に掲げる人材の育成支援を行います。受講の定員は、上限10名とさせていただきます。

主な人材	(個人レベル) ガイド、インタープリター	(地域レベル) 地域コーディネーター プロデューサー
所属先イメージ	観光 施設、アクティビティ事業者、体験観光事業者等	自治体、観光協会、DMO/DMC、商工会、協議会の関係者、各種組合等
期待される役割 (育成目標)	<p>来訪者と最前線で接する地域の顔として、地域ならではの価値を感動や学びの体験を通して来訪者に伝え、来訪者の満足度向上を図る。</p> <p>来訪者の満足度向上及び経済的な視点も含めた地域社会の価値向上に貢献する。</p>	<p>関わる各主体間を取り持ち、情報集約と共有、状況把握、働きかけを行い、来訪者の満足度向上、地域社会の価値向上及び自然環境の保全のバランスのとれた取組を促進する。</p>

#### 【応募にあたっての留意事項】

- 本塾は、研修の成果として作成するアクションプランをチームで協働し取り組んでいく観点から、現地フィールドワークにおいては、全日程に参加できるよう、スケジュールの調整をお願いします。
- 現在、上記の業務に従事していなくても、興味・関心がある/今後、働く予定されている方の応募も可能です。
- 本塾において、具体的なアクションプランを定め、地域の関係者と協働しつつ自走する仕組みの構築を目指す意欲のある人材を対象とします。塾終了後には、協会の事業にご協力いただく場合があります。
- 応募総数が募集人数(上限10名程度)を上回った場合には、選考を行う場合があります。

#### (2) 事業全体の流れについて

時期	事業の流れ	概要
【2024年】 12月20日(金)	募集締め切り	上限10名程度を募集します。
12月23日頃	書類審査・選定	応募書類に記載の内容を踏まえ、審査・選定を行います。
【2025年】 1月8日(水)	オンライン事前説明会	受講決定した参加者に対し、参加にあたっての留意点や心構えなどについて整理をします。(60分程度を予定)
1月25日(土)	フィールドワーク研修 (安中市・秋間梅林)	現地視察やワークショップを通じ、アクションプランづくりをチームを組んで行います。
1月26日(日)	アクションプランの発表	チームごとに作成したアクションプランを発表し、参加地域からフィードバックを得ます。

## 4. 塾参加にかかる経費等

---

### (1) 塾参加費用

本塾の参加にあたり、**5,000円(税込)**の参加費用を徴収いたします。お支払い方法については、受講決定後にお知らせいたします。なお、下記に記載の集合場所までの往復交通費及び、その他の実費(食費等)については、参加者ご自身でご負担いただきます。

※フィールドワークは、日帰り×2日間のプログラムを予定しています。各自自家用車または公共交通機関をご利用ください。駐車スペースは、秋間梅林内に用意をする予定です。

※昼食用(1日目、2日目)のお弁当および夕食代(1日目)は、参加費に含まれています。

※宿泊をご希望される場合には、事務局まで別途お問合せください。

### (2) 研修日時・会場

#### ● オンライン事前説明会

日時：令和7(2025)年1月8日(水) 18:00開始、19:00終了(予定)

会場：オンライン

※オンラインでご参加いただくためのURL等の情報については、受講決定後にお知らせします。

#### ● フィールドワーク研修

日時：令和7(2025)年1月25日(土)～26日(日)

【1日目】 1月25日(土) 9:30 集合、19:30 解散(予定)

【2日目】 1月26日(日) 9:00 集合、17:30 解散(予定)

会場：秋間梅林(群馬県安中市西上秋間大吹672)

<https://akimabairin.com/access/>

集合：現地集合、現地解散となります。

※そのほか詳細については、受講決定後にお知らせします。

## 5. カリキュラム

### (1) カリキュラム(予定)

【事前説明会】 ※参加は任意です。オンラインにてご参加いただけます。

日程	時間	内容	備考
2025年 1月 8日(水)	18:00	研修のねらいと全体像について 秋間梅林について(秋間梅林観光協会より)	
	19:00	終了(予定)	

### 【フィールドワーク研修】

2025年1月25日(土)～26日(日)、群馬県安中市秋間梅林にて実施します。

日程	時間	内容／1日目	備考
<1日目> 2025年 1月 25日(土)	9:30	現地集合	
	10:00	オリエンテーション、アイスブレイク(自己紹介など) フィールドワーク研修の全体像について	
		秋間梅林観光協会が提供しているプログラムを体験 秋間梅林を見て回る	
	12:00	昼食	
	13:00	受講生からの持ち寄りアイデアを共有 アイデア発散、収束	
		アクションプラン発表に向けたチームづくり 10年後もこの地域が梅の産地であり続けられるために	
	17:30	夕食を兼ねた親睦会	
19:30頃	現地解散		

日程	時間	内容／2日目	備考
<2日目> 2025年 1月 26日(日)	9:00	現地集合	
	9:15	グループワーク アイデアを実現可能な取り組みへの落とし込み	
	12:00	昼食	
	13:00	グループワーク 発表に向けた準備	
	15:00	アクションプラン発表	
	17:30	現地解散	

※募集開始時点での予定につき、内容は変更となる場合があります。予めご了承ください。

## (2) フィールドワークの会場となる、「秋間梅林」について

ぐんま三大梅林のひとつで、観光梅林としては約60年超えの歴史があります。広大な丘陵に開花期はあたり一面に紅白梅が咲き誇り、春の香りに包まれます。梅林内は散策できる遊歩道が整備されており、開園期間中は郷土料理を楽しむことができる売店が開店します。群馬の文化である「かかあ天下」を象徴する農家のお母さんたちが、笑顔で営業する売店が8軒連なり、地元のごはんやおやつを味わう事が出来ます。ここ秋間梅林は観て、食べて、体験できる、梅のふるさとです。秋間梅林に暮らす農家の方たちは、全国に出荷する梅を毎年栽培しながら、花の咲く季節に訪れる観光客をもてなしてきました。観光地として最も盛り上がっていた昭和後期には、座って昼食をとる時間すら確保できないほど人が溢れかえていたそうです。

一方で現在、群馬県は全国第2位の生梅の生産地ですが、生産者の高齢化に加え、生産の担い手である農家の人手不足や価格の低迷、それに伴う放任園が増加し、産地として危機的状況に陥っています。それでも、農家の方たちは、一年に一回しか収穫できない梅を、一年のほとんどをかけて大切に育てています



そこで、秋間梅林では、観梅シーズン以外にも人を呼び込み、梅の魅力に惹かれ、一人でも多くの方が梅農家を目指してもらえるようさまざまな取り組みを行っています。「一年を通して人々が回遊できる梅林にしたい」との考えから、梅農家の方たちが立ち上がり、「あんなか秋間梅林

農泊推進協議会」を、2018年7月に発足させて、誘客に繋がる新たな取り組みを行っています。6月の梅もぎ、2月～3月の梅林祭期間中に販売される「食べ歩きチケット」以外にも、通年楽しめる体験プログラムが用意されています。自分で収穫した梅を梅割り器で割り、秋間梅林オリジナルのボトルに氷砂糖と一緒に入れてつくる「梅シロップづくり体験」や、紅梅の木を削り、煮出した染め液で行う「梅の草木染め体験」もできます。

その他、ボランティアやサポーター制度にも力を入れています。ひとつは2017年から実施している「梅の学校」で、授業形式で梅農家の1年を体験するというもので、今年度で8期となっています。そして、2023年6月からスタートしたのが「梅園サポーター」。梅もぎを行う6月だけではなく、一年を通して農家の作業を手伝うことを目的にしています。



## 6. 応募方法について

---

### (1) 応募について

以下のオンラインフォームより応募してください。

<https://forms.gle/XsodJxcFrbT5QBoC7>

※ご記入いただいた応募フォームの内容は、本事業に関する目的以外には使用いたしません。

### (2) 応募締め切り

令和6(2024)年 12月20日(金) フォーム回答必着

### (3) 応募先・問合せ/事務局

ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせくださいませ。

公益財団法人 群馬県観光物産国際協会 地域プロデュースユニット 担当：宇津木  
〒371-0026 群馬県前橋市大手町二丁目1番1号群馬会館3階  
Tel 027-243-7273 E-mail : [dmo@gtia.jp](mailto:dmo@gtia.jp) ホームページ <https://top.gtia.jp>  
※お問合せの際は、できる限り E-mail をご利用ください。

## よくある質問

Q：群馬県在住ではないのですが、応募(参加)は可能でしょうか？

A：可能です。参加費用の他に、フィールドワーク場所までの往復交通費及び、その他の実費(食費等)については、参加者のご負担となります。宿泊をご希望される場合には、別途お問合せください。

Q：学生でも応募(参加)は可能でしょうか？

A：可能です。現在、観光関連事業に従事していなくても、興味・関心がある/今後、働く予定されている方であれば、応募は可能です。なお、参加にあたっては、参加費用の他に、フィールドワーク開催場所までの往復交通費及び、その他の実費(食費等)については、参加者のご負担となります。

Q：フリーで活動をしています、個人での応募は可能でしょうか？

A：可能です。所属先や団体等は問いません。

Q：過去に、「ぐんま観光リーダー塾」に参加したことがありますが、もう一度応募することは可能でしょうか？

A：可能です。今年度は、講義・座学中心のインプットから、フィールドワークおよびグループワークを主としたアウトプットとなりますので、修了生の皆様の参加は心強いと考えています。

Q：カリキュラムの一部日程(時間)に参加できないのですが、応募(参加)は可能でしょうか？

A：フィールドワーク研修となる、2025年1月25日(土)～26日(日)には、全日程の参加を要件としています。全日程の参加が難しい場合には、応募フォームにてその旨記載ください。なお、応募は可能ですが、状況により選考をさせていただく場合があります。予めご了承ください。